

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために



奉仕と親睦  
夢と希望を持って活動しよう

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー 2011~2012 富津中央RC会長 小野 恒靖  
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2238 第30回例会 2012. 3. 1 曇

点 鐘：小野恒靖 会長  
進 行：佐藤信泰 副 SAA  
ソング：君が代、奉仕の理想  
お客様：白井敏夫様 富津市少年野球連盟会長

3日の土曜日は君津ロータリークラブの40周年記念例会に須藤幹事さんと出席してきます。

4日は富津公園で県民マラソンがあり、警備係りでお手伝いです。参加者は5千人超です。

今年度は各クラブの周年記念の当たり年であります。嬉しい悲鳴です。25日は塩山クラブです。

今日は高島会員と三井会員の卓話があります。楽しみです。三井会員はネクタイをしてきました。

### 会長挨拶

小野恒靖 会長



少年野球監督の白井さんようこそ。後ほど野球大会の報告おねがい致します。

昨日、シティロータリークラブ創立20周年記念例会に9人でいってきました。講師は志波会員で立派な20周年でした。私は、久しぶり挨拶の内容をほめられました。

おととい 榎本守男さん夫妻が見えまして、とても元気そうでした。明日は告别式出席のため、例会は出られない、とのことでした。

渡辺務会員は市議会質問の為、例会欠席です。山田会員、先週は矢那梅の香園の施設見学有難うございました。

### 会長報告

例会終了後、理事会があります。

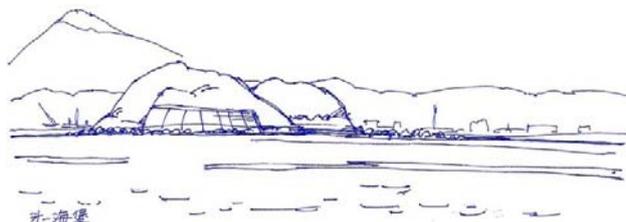
### 幹事報告

須藤 隆 幹事



先週は山田会員のお取り計らいで、社会福祉法人「梅香会」の施設見学をさせていただき有難うございました。近代的な施設が充実し、いずれ私ももお世話になるとすればあのような施設に入ればよいと思いました。

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



## 報告事項

1. 2月29日(水)の富津シティ創立20周年記念例会に当クラブから9名が参加しました。当クラブの志波特別代表補佐が卓話の中で富津シティRC設立当初のエピソードを話され、会を盛り上げました。
2. 第4分区親睦ゴルフコンペのご案内受領 参加者募集 回覧  
日時:平成24年4月20日(金)  
8:00集合  
場所:鹿野山ゴルフクラブ  
参加費:5,000円/一人
3. 第45回インターアクト年次大会の報告書受領 回覧
4. 台南西区扶輪社より会報受領 回覧

## 少年野球大会の報告と御礼

白井敏夫 様



第29回富津市ロータリークラブ旗争奪少年野球大会は2月19、26日の両日行われ、優勝・大貫少年野球クラブ、準優勝・富津アストロタイガースという結果でした。

御支援、御協力有り難うございました。今後とも変わらぬ御指導、御支援宜しく願いいたします。

## 卓話 陶芸に惹かれて

高島治雄 会員

I 今日私は私が趣味として楽しんでいる陶芸についての話を致します。私が何故陶芸に惹かれたのか、自分なりに考えるのですが、……女みたいと笑われそうですが私は若い頃から料理をすることが好きでした。まだ男子厨房に入らずが一般的な時代に、結婚早々からよく台所に入ったものです。

これには触発されたことがあったのですが、まさ

に料理はアイデアと人への愛情に根ざした芸術品だと教えられたのです。その作られた料理がまた器によって更に趣を変え美味しく感じられる、つまり料理は総合芸術と言えましょう。そんな訳で食器に興味を持ち、その食器類を自分で造り、我が家の食卓は自分の食器で埋めたいと思う様になったのかなと思います。

考えてみると陶芸も料理も共に創り出す楽しみがあるという共通点があるのです。それに家内が趣味の生花を長くやっていますので、それに応える花器造にも挑戦してみようかなとの思いもありました。

陶芸をやってみて子供時代のどろんこ遊びの郷愁も感じて、なかなか魅力あるものです。これらが私に陶芸を続けさせている由縁です。

## II 陶器のはじまり

すでに陶器のもとである土器は古墳時代からあり、多くのが掘り出されているのはご存知のこと、生きることと土器とは切り離せないものなのです。人間が言語を持つと同様に、動物たちと異なる所の1つは土器が作り出せたと言うことです。陶器としての初めてのものは5世紀半ばから朝鮮式の「しらぎ焼」や中国からの灰陶などが九州北部に伝えられ、それらをはじめとして広がってゆき、後に日本独特のものが産まれてくるのです。その代表的なものが、8世紀に作られた正倉薬壺(胴径23cm位)と言われます。その後鎌倉時代から常滑焼(日本最古の焼き物)とか、瀬戸焼など各地で独特な焼が発達したようです。

## III 日本の焼きもの地図

○全国には数え切れない程の窯があると思われませんが、認知されているもので64~5の焼きものがあるようです。

例えば北海道の小樽焼、大雪焼、青森の津軽焼、関東の笠間焼、岐阜の美濃焼、山口の萩焼、九州の唐津焼、沖縄の読谷焼等全国にある。

○それでは日本の中で、～焼と称される窯を持たない県はどこでしょう。それぞれの理由があると思いますが、その大きな理由は焼き物に適した陶土が産出されない県です。

それが8県あります。新潟、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、熊本、宮崎です。千葉県の土は高温に弱く、普通1200度以上で焼くのですが、溶けて

しまうものが多いようです。

#### IV さてここでクイズです。

ここに掲げる8つの焼きものを北から南に県ごとに区分けして行くと、どんな順序になるでしょうか。

- ①九谷焼、②備前焼、③益子焼、④信楽焼、  
⑤常滑焼、⑥有田焼、⑦萩焼、⑧清水焼



③→①→⑤→④→⑧→②→⑦→⑥

#### V 陶芸の魅力

陶芸は1に土、2に焼、3に細工と言われるが、ここで改めて陶芸の魅力を探ってみると、自分だけのものを創り出す楽しさと言えるでしょう。人は美しいもの、美味しいものに惹かれるのは本能だと思います。窯から自分だけの作品が出てくる瞬間の期待感は何とも言えないものです。時には自分が期待している以上の作品が出来上がることもたまにありますが、がっかりすることも度々です。陶芸が神秘的な所があるのも陶芸の魅力と言えます。

同時に陶芸はすごくメンタルなもので、精神的にも健康的にも良好、健全でないと、思う様な作品が出来上がらないことを度々実感しています。

ここで焼き物の出来るまでの各工程を簡単に言いますと、

※粘土の選択と練り込み→※成形→削り(高台とか)→装飾(縄文や飛び鉋等)→乾燥→素焼→※作品に化粧したり着物を着せる役目としての釉薬づけ→本焼→最後に窯出し になりますが、ここでの各流れの中に楽しみがあり、悩みがあつてそれがまた陶芸の魅力なのですが、後日機会があればお話ししたいと思います。

ご清聴有り難うございました。

#### 時代劇への思い

三井 進 会員



時代劇を最近よく見えています。お気に入りには、鬼平犯科帳と座頭市。いずれもBSの放送を録画しておいて見えています。

鬼平犯科帳は毎週月曜の週1回放送だからそうでもありませんが、座頭市は月曜から金曜の平日週5日ですから、気を抜くと結構たまってしまう、大変です。

昔から、時代劇は好きでした。京都に生まれて、そういう雰囲気の中で育ったということがあります。また、小さい頃に居合を習っていたということもあります。

でも最近は時代劇を見るのが少なくなっていました。時代劇自体が少なくなっていることもありますが、最近の時代劇はなんとなく物足りなく、昔の作品の方が、一本筋が通っているような気がします。鬼平犯科帳は池波正太郎ですし、座頭市は子母澤寛と原作がしっかりしていることもあるのでしょうか。

座頭市は、当時としては意欲的で、農民の貧困のさまをアップを多用したカメラでリアルに描こうとしている勝新太郎の凝りようが伝わってきます。

鬼平犯科帳はご存じ中村吉衛門の火付け盗賊改め方・長谷川平蔵ですが、吉衛門がいい味を出していると思います。

吉衛門の前に萬屋錦之介がやり、丹波哲郎が平蔵をやったようですが、残念ながらこれは見ていません。再放送をやってくれないかなと期待しています。もっとも吉衛門の平蔵も、放映当時はあまり見た記憶がありません(平成元年～平成13年)。

今まで見た中でよかったと思うのは、萬屋錦之介の「宮本武蔵」と北大路欣也の「それからの武蔵」ですね。萬屋錦之介の宮本武蔵は映画ですが、5部作ものでした。サブタイトルに、般若坂の決闘、

二刀流開眼、一乗寺の決闘、巖流島の決闘…ワクワクするような題名です。

上映されたのが昭和36年から40年で私が小学生、中学生の時ですから、映画館の封切ではなく、テレビで見た記憶だと思います。

お通の八千草かおるさんが山で笛を吹く、村人から関ヶ原の残党狩りとして追われる武蔵の荒々しい心が落ち着いてゆき洗われてくる。沢庵和尚に大木につるされる場面。姫路城天守の書物が山積みになった一角に押し込められ、日がたつにつれ読むことに没頭していく…記憶に残る場面が多くあります。

宮本武蔵はご存じ吉川英治の新聞連載小説ですが、今ある宮本武蔵像はこの吉川英治の作り上げたキャラクターによります。

この新聞連載もきっかけが面白く、昭和7年に直木賞の直木三十五が「武蔵非名人説」を発表し、これに対して菊池寛が「武蔵名人説」で反論、武蔵論争が起きたようです。

この渦中に吉川英治が菊池説を支持、これに対して直木三十五が吉川英治に対し「武蔵を名人とする論拠を発表せよ」と迫った。これを受けて吉川英治が4年にわたって新聞連載をし、大好評を得た結果武蔵像が確立したという、面白い話です。

確実に信頼できる記録が残っているわけではなく、五輪の書他さまざまな書物を突合せしながら武蔵像を浮き上がらせていくわけです。

五輪の書には、13歳で初めて新当流の有馬喜平と決闘し勝利、16歳で但馬の国の秋山という強力な兵法者に勝利、以来29歳までに60余回の勝負にすべて勝利したと書かれています。

さすがに一条下がり松のような決闘があったとは思えませんが、武蔵が残した水墨画を見るとやはり常人ではなかったと推測はできると思います。

「それからの武蔵」はリアルタイムで見たドラマです。巖流島の決闘の後、剣聖の道を歩んでいくさまを描いています。晩年熊本の細川家に迎えられ、霊巖洞にこもり五輪の書を書き上げた。死を迎えて、藩主が参勤交代で江戸に向かう街道を望む場所に葬るように言い残した…というものでした。原作が小山勝清(おやまかつきよ)という人で吉川英治とはタッチが違いますが、清々しくなるようなドラマで

した。

それからの武蔵は月形龍之介が演じ、萬屋錦之介も演じたわけですが、何とかこれも見たいものだと思います。

剣豪の物語は、剣の道を究めるために果し合いをし、切り合いをする話、言葉を変えれば殺してゆくとする残酷な話ですが、おそらくは、果し合いに勝つことにより名声を高め、大家に仕官するのが目的だったと思います。

道を究めたところでは、刀を使わずして相手に勝つ…即ち無刀流に行きつくようです。

人間というものは、残念ながら、犠牲を払わないと学習できないようです。

## 祝ROTARY柳壇掲載

千葉一利 会員



“早々とメジロ夫婦がやって来た”これが「友」に載った。

我が家の居間の前に池がある。その片隅に梅の老木があり、品種は分からないが、今年は特に寒かったせいか今頃花が咲き出した。従ってその花を求めて来るメジロも遅れた。

よく「梅にウグイス」と言われるが、先日テレビでボードウォッチングのお姉さんが「梅にはメジロ」です、と解説していた。

その通り、我が家の梅にも毎年2羽のメジロがやって来る。その鳥は毎年同じであるか定かではないが、仲むつまじく寄り添う姿を見ると夫婦ではないかと思う。

更に飛来時刻は、朝の7時半頃、毎日ほぼ同じである。これは動物の本能に基づく習性だろうが、その規則性に驚く。

とにかく、このメジロたちが毎年我が家に春を運んで来てくれる。

ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員

山田昌雄 当施設の見学、有り難うございました。

千葉一利 川柳が「ロータリーの友」に掲載され。

三井 進 卓話を聞いて頂き。

高島治雄 " "

合計 4,000 円

出席報告

山田昌雄 出席担当委員

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	19/17	14	3		82.35%
前回	19/18	14	4		77.78%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会は夜間)
火	富津(特別 18:30 10~3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 19:00)
木	上総、木更津

理事会報告

1. 今後の日程について

3/08 卓話 須藤

3/15 家族集会報告、卓話 山田

3/22 卓話 原田、榎本

3/29 夜間例会

尚、理事会では3月29日に荏原製作所の工場見学を予定しましたが先方の都合で、3月29日は予定通り夜間例会とし、工場見学は4月12日(木)に変更となりました。

あとがき：3、4月、志波会員のお世話を受けながら会報を担当いたします。今回は例会進行係と重なりましたが、自分への良い刺激になる様努めたいと考えています。(佐藤)

優勝

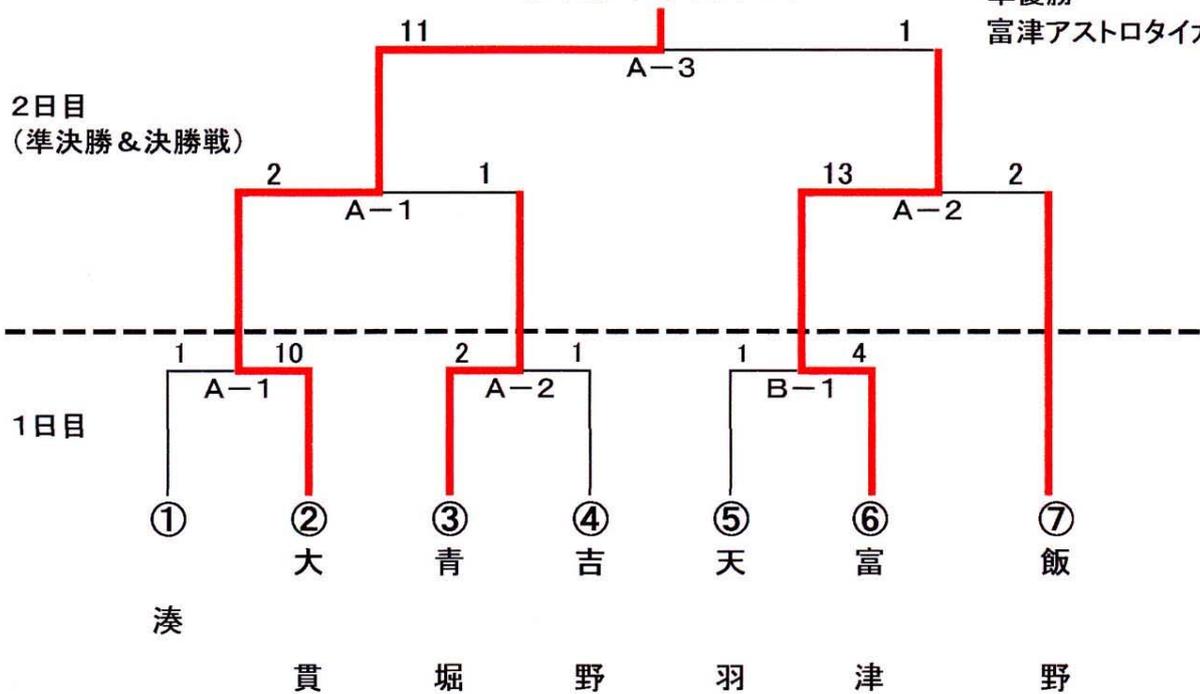
(大貫少年野球クラブ)

準優勝

富津アストロタイガース

2日目  
(準決勝&決勝戦)

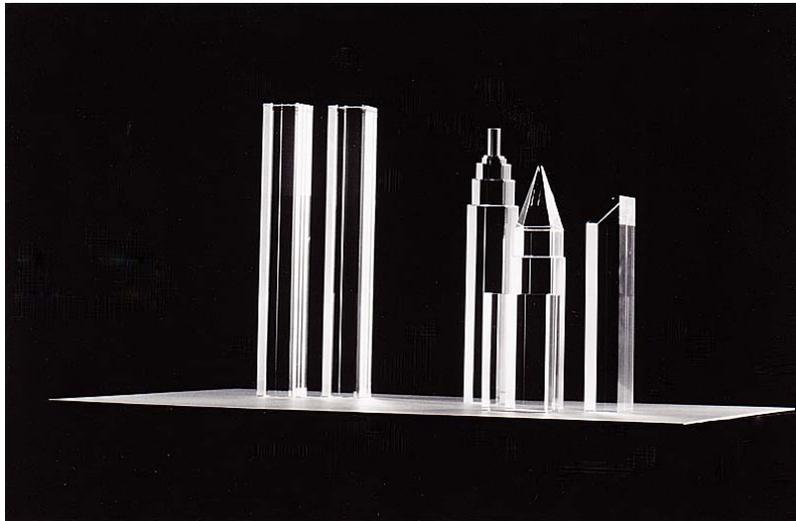
1日目



- 最優秀選手賞 鈴木 海斗(大貫少年野球クラブ)
- 優秀選手賞 白石 智也(富津アストロタイガース)
- 敢闘賞 戸倉 伸吾(湊少年野球クラブ) 高本 歩夢(吉野ボーイズ)
- 白石 晴輝(天羽オールスターズ) 田中 翔也(青堀少年野球クラブ)
- 工藤 ライアン(飯野少年野球クラブ)

グラスアート

—— マンハッタン・スカイライン ——



クリスタルガラス 鋳込み カット 研磨 ステンレスベース  
H40\*W80\*D40 cm 佐藤信泰

コーニンググラス美術館「ニューグラスレビュー2」選定  
ローザンヌ美術館収蔵